

## 平成21年度 事業計画

「第3次3ヶ年基本方針(平成21年度～23年度)」の初年度にあたり、各区におけるネットワーク組織の側面的支援や相互の連携づくりを行っていきます。実際に災害が起きたときの災害ボランティアセンターの立ち上げ体制について、強化をしていきます。

### 【平成21年度実施事業】

#### 1) 区災害ボランティアネットワーク(以下「区災ボラネット」)の支援

- ① 設立された区災ボラネットについて、運営を支援します。
- ② 未組織の区については、立上げや組織化のきっかけとなるような事業や情報提供等の支援をしていきます。
- ③ 区災ボラネット連絡会を開催し情報共有や連携強化をすすめます。

#### 2) 災害時のボランティア活動の普及啓発

- ① 市民を対象とした啓発活動を行います。
  - ・ライフデザインフェア2009への参加
- ② 区災ボラネットの会員を対象とした研修会・勉強会を実施します。
  - ・災害ボランティアコーディネーター研修会
- ③ 昨年度改訂したコーディネーターハンドブックを活用し、区への情報提供を行います。
- ④ 市災ボラネットを広くPRするためパンフレットを刷新します。

#### 3) 災害情報等の収集・提供

市のネットワーク会議として災害に関する情報や各区災ボラネットの活動状況を常時収集、整理、提供します。

- ① 収集・整理した情報をホームページや広報誌により広く情報提供します。
  - ・ホームページによる情報提供(年間24回以上)
- ② 会報の発行 年2回(各回2,500部)

#### 4) 各機関との連携強化

- ① 横浜市災害ボランティアセンター開設(災害時)について横浜市と協議をすすめます
- ② 市外の災ボラネットとの連携のため神奈川災害ボランティアネットワークに参加します。
- ③ 運営支援、研修会、情報収集・提供等を通して、区災ボラネットや区社会福祉協議会と日頃からの連携を強化します。

#### 5) 区ネットワークを含めた市災ボラネットの組織体制の強化

- ① 運営委員会を開催し、さまざまな団体や個人で構成される市災ボラネットの連携を強化するとともに、関係性や役割について話し合います。
- ② 運営委員会において、県や区の動向を鑑みながら、市災ボラネットの今後の役割について検討をすすめます。
- ③ 区同士、区と市の関係強化のため災害ボランティアネットワーク連絡会を開催します。
- ④ 昨年度移管された事務局業務について、前任の横浜市青少年育成協会の協力を仰ぎながら必要に応じて見直しを図ります。